

# NZ「障がい者親善大使」

## 美観地区周辺を散策

案内役 天城高生と楽しむ



「川舟流し」  
の風情も満喫

オリジナルの手ぬぐい作りや、倉敷川の小舟で美観地区の風情を楽しむ「川舟流し」、大原美術館での名画鑑賞など、生徒たちが考えた独自のプランでもてなし。

ニュージーランド・クライストチャーチ市から「障がい者親善大使」の高校生2人が姉妹都市の倉敷市を訪れ12日、天城高校（同市藤戸町天城）の生徒の案内で美観地区周辺を散策しながら、交流を深めた。

大使はセリン・ザラ・ジェンキンスさん（17）と、エマ・アシュワースさん（16）。2015年に大使としてニュージーランドを訪ねた天城高2年塩田理史さん（16）ら生徒8人が、2グループに分かれて、ガイドを務めた。



美観地区を散策する一行

「短い時間でも倉敷の魅力を知ってほしい」と思って計画した。簡単な英語を使って分かりやすく説明した」と塩田さん。ジェンキンスさんは「倉敷でしかできないことをしたかった。珍しい体験がとても楽しかった」と話していた。

2人は11日に倉敷入り。22日まで滞在し、支援学校や障がい者施設などを訪ねる。

両市は2004年度から相互に大使を送っており、倉敷での受け入れは6回目。

（中原由華）